

令和2年度岩美中学校（生活指導部）部 3学期マネジメント

理想とする生徒像				年 間 目 標	① 基本的生活習慣の構築			
自己決定し、責任を持って行動でき、自らの生活を自らコントロールできる生徒					② 自己肯定感の向上と家庭との連携強化			
					③ 次年度に向けて、目標とする姿を見据えた生活設計と実践			
目標 番号	3学期に目標を達成するための活動	活動内容	責任者	1月	2月	3月	4月	
① ③	続：生活習慣の構築 →質の向上→強化・定着 ・欠席がほとんどなく学校に登校してくる。 ・挨拶、服装、提出物、給食、掃除など正しい学校生活のリズムを作っていく。 ・挨拶・掃除の仕方レベルアップ。	○専門委員会の呼びかけ。 ○フォーサイトの記述 →毎日の記入＋レベルアップ →生活リズム、生活習慣を構築する。	坂田 ＋各委員会担当	フォーサイトの書き方再確認＋指導。（各学年、学級担任）	フォーサイト強化週間2月中旬予定期末テスト前（フォーサイトプロジェクト3学期）	無言掃除プロジェクト ・2月下旬予定 ・班内チェック	各専門委員会で仕事の確認、呼びかけ、活動内容の実施	
				＜生活振り返りアンケート＞ ○ルールを守れていますか 肯定的評価[95%] ○無言掃除ができていますか 肯定的評価「80%」 時間いっぱい隅々まで 肯定的評価 [90%]				
① ③	睡眠時間の確保，メディアの使用時間の削減及び生活リズムの向上を目的としたフォーサイトの有効活用	生活リズム定着強化週間の設定（フォーサイトの記述の活用） ＜生活振り返りアンケート＞ ○睡眠時間 7時間以上 [65%] ○メディア使用時間2時間以内 [65%] ○毎朝朝食を食べる [90%]	丸田 尾崎	睡眠充実生活習慣の実施 1月11日（月）～1月17日（日） ・フォーサイトの活用 ・班内チェック（就寝・起床・メディア時間チェック）	メディアに関する発信・保護者啓発（たよりor会の開催）	強化週間（家庭学習時間 メディア使用時間）		
②	“もうひと手間”の実践 自己肯定感の向上（受容と愛情） ＜i-check>他者評価[65%]→（i-checkの自己肯定感項目）	“いいところ見つけ”の実践→発信	坂田	いいところ見つけの記入（月に1回呼びかけ）			発信（たより等）	
②	教師サイドが、生徒による「企画→実践・発信→振り返り活動」の活動の支援し、その活性化に努める。 ＜生活振り返りアンケートor生徒質問紙＞ 委員会や係活動において、自分たちで考えた取り組みに、積極的に取り組んだ。 [60%] [90%]	1委員会1企画の実践		各担当	後期中間専門委員会企画・立案 12/17（木）	実践	各委員会とのタイアップやフォロー、共同実施をする。	実践
① ②	生徒と寄り添う時間の確保 i-checkの友達の支え、先生の支え ○学校内に悩みを相談できる先生がいる。[70%]	＊昼休憩時 学級担任→13：20まで教室で生徒と共に 担任外 →校内巡視のポイントの徹底	居組	継続実践				
②	食育指導のサポートをする。 ・給食の完食日数を1日でも多くする。 ・感謝の気持ちを持って食事をする。	○プロジェクトの実施と呼びかけ。 ○食事のマナーや大切さのアナウンスを何度か行う。	尾崎 船内	給食中の見回りと食育講義	プロジェクト実施予定	発信（たより等）		